

「事業名：早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事業」 平成30年度補助事業の実績・成果

早稲田大学 連携市町村：広野町

連携市町村との協定締結日：平成31年1月18日

現地拠点：双葉郡広野町下北迫大谷地原65-3 ニツ沼総合公園管理棟

事業のポイント

- ・地域社会の持続可能性研究における社会的ソフトづくり(熟議の場の構築)と浜通り地域の広域連携のネットワークを構築
- ・対象となる自治体、地域のNPOなどの市民団体、大学の3つの連携を基本単位とする地域課題に基づくアプローチの実践
- ・Co-design手法の適応により、立場の異なる3者と多世代の参加者がフラットな関係で熟議をすることで未来志向の議論を実践
- ・学術機関だけでなく現場の実践的な活動を行う実務者を積極的に研究体制に巻き込みながらの社会イノベーション(SI)モデルを展開

今年度の活動実績

対象となる自治体、地域のNPO等市民団体、大学の連携を基本単位とし、地域に根ざした長期的・広域的アプローチを実践
→フラットな関係での熟議
→その過程からの成果をふくしま学(楽)会という場で、集約的に議論



今年度の成果

- ・第2回ふくしま学(楽)会：4つのテーマについて横断的・包括的な議論
→論点の明確化(テーマ1・テーマ2:「誰のための、何のための復興なのか」、「復興ビジョンの見直しの必要性」、「復興を自分ごとにしていくこと」、「双葉郡全体や浜通り全体のまちづくりを考えることの重要性」、テーマ3:「地域による所有、地域による意思決定、地域への利益還元というコミュニティ・パワーの3原則」、テーマ4:「大事なことを誰が決めるのか」、「討論のフレームの設定やオプションの重要性」)。
- ・第3回ふくしま学(楽)会：長期的・広域的な観点から「何が重要なのか」、「今、何をなすべきか」を主眼に議論
→「ふくしま浜通り社会イノベーション(SI)構想」の提案(2050年に海外・県外からの宿泊訪問者が年間100万人を超える活気あふれる持続的な地域社会を創る)。今後、SI構想を改善・進化させ、SI構想の具体化を推進。

